

# 地域活性化セミナー

～「木」の新たな可能性について考える～

「愛林のまち、つべつ」。津別町は地域の豊かな森林資源に恵まれ、林業はじめ、製材業、木材加工業などものづくりの盛んな地域として発展してきました。

まちの将来を見据えて「木」との関わりは、今後益々重要であり、地域の経済を支えるとともに、豊かな自然環境を次世代へ継承する上でも、大事な役割を果たしてまいります。

“鋼鉄の5倍の強くて軽い”「セルロースナノファイバー」、お聞きになったことがありますか？カタカナで難しいようですが、実は、「木」をふんだんに使った新たな材料で、日本生まれで世界から注目される夢の新素材です。日用品、建材や家電、さらには自動車分野などでその用途は限りなく広く、地域経済の活性化にも大きな期待が寄せられています。

本セミナーでは、新聞、雑誌、TVなどでも多数紹介されている「セルロースナノファイバー」研究の第一人者である京都大学生存圏研究所教授 矢野浩之氏の津別町来訪の機会をお借りし、氏がこよなく愛する「木」の可能性について“楽しく”お話いただきます。

日本は、「木の文化」を大切にしてきました。私たち日本人は木の素晴らしさを知り、その良さを取り入れ、経済的な対価を森に返していくことで、私たちの生活をより豊かにすることができるでしょう。

津別の将来を考えるうえで大変貴重な機会ですので、ぜひご参加ください。

◆日 時：平成30年5月10日（木） 16:30～17:30

◆会 場：津別町林業研修会館2階 集会室

◆参加費：無料（定員：50名）

◆プログラム：

挨拶 津別町長 佐藤 多一

基調講演

「木の国ニッポン 一木の可能性について語る」

京都大学生存圏研究所 教授 矢野 浩之 氏

案内役

（一社）産業環境管理協会 地域・産業支援部門副部門長 壁谷 武久



## 【参加申込の方法】

本紙裏面の参加申込書記載の上、5月7日（月）までにFAX（0152-76-2976）、または、電話（76-2151）、E-mail（kanehira-masaaki@town.tsubetsu.lg.jp）にてお申込みください。

【お問合せ】津別町役場産業振興課 林政・再生可能エネルギー推進グループ

TEL：0152-76-2151（内線318） / FAX：0152-76-2976

E-mail：kanehira-masaaki@town.tsubetsu.lg.jp

## 講演者プロフィール

や の ひ ろ ゆ き  
矢 野 浩 之

京都大学生存圏研究所 教授



京都大学生存圏研究所生物機能材料分野教授。農学博士  
ナノセルロースフォーラム副会長

長野県松本市出身

1982年 京都大学農学部林産工学科を卒業

1984年 同大学大学院農学研究科修士課程林産工学専攻を修了

1989年 論文により農学博士を取得

1986年～京都府立大学農学部助手

1992年～同大学講師を務める

1998年 京都大学木質科学研究所助教授に就任

2002年 秋田県立大学木材高度加工研究所客員助教授

2004年～京都大学生存圏研究所教授

主にバイオ系ナノ材料の研究・開発に力を注ぐ

2000年～植物の基本骨格物質となるセルロースナノファイバーを用いた材料開発を進める。

研究分野

セルロース、ナノファイバー、ナノ材料、バイオマス、木材。

所属

日本木材学会や日本材料学会、セルロース学会など

受賞経歴

1989年に日本木材学会奨励賞

セルロースナノファイバー材料の開発により、

2005年にセルロース学会林治助賞

2009年に日本木材学会賞、

2016年に第37回本田賞、

2017年に米国紙パルプ技術協会ナノテクノロジー賞を受賞。